

# 「山岳の環境保全及び適正利用の方針」の改訂について

自然保護課

## 山岳の環境保全と適正利用の方針

この方針は、長野県登山安全条例第 15 条の規定により策定される山岳の環境保全及び適正利用の基本方針であり、豊かな山岳の環境を維持し、登山者の安全を確保するための必要最低限のルールとなるもの。

### 【改訂の背景】

- 気候変動による自然災害の発生や新型コロナウイルス感染拡大によって、山岳を取り巻く近年の状況は、より厳しさを増している。
- 登山道の維持補修や整備、山岳トイレの維持管理、遭難者救助の補助など公益的役割を担っている山小屋は不可欠な存在だが、施設維持の課題や山小屋の経営継続に係る課題は深刻化している。この状況が長期化すれば、山岳の環境は荒廃し、持続的な利用が困難になることが想定される。

### 【改訂のポイント】

#### 1 現状と課題

##### (1) 気象データや山域の山小屋の運営状況の見える化

- 気候変動に起因する自然災害の増加  
山岳の環境保全に大きな影響を与えた令和 2 年 7 月豪雨の雨量データ掲載
- 新型コロナウイルス等感染症への対応  
山小屋の運営状況や山小屋が実施した対策等の整理、今後の感染症への対応を記載

##### (2) 山小屋の公益的役割の明確化

山小屋の公益的役割や課題を記載することにより、重要性を明確化

#### 2 山岳の環境保全と適正利用に向けた取組

- 登山道整備支援、自然公園施設整備支援、県直営事業による支援実績を記載
- 山小屋事業者等に対する支援  
これまでの市町村、山小屋関係団体が実施する登山道等の施設整備への支援に加え、気候変動による自然災害や新型コロナウイルス感染拡大により変動した情勢に対応すべく、新設・拡充した支援の内容を具体的に明示、実態に応じた助成制度となるよう必要な改正を行うことを記載

#### 3 推進体制

長野県下の山岳関係者、関係行政機関等により組織される「長野県山岳環境連絡会」により、登山道や山岳地域トイレ等の施設のあり方や整備方法、山岳地域の生態系の保全等について、情報を交換し、合意形成を図りつつ対策を推進していく。



豊かな山岳の環境を維持し、登山者の安全を確保